



TITLE:

天象

AUTHOR(S):

---

CITATION:

天象. 天界 1933, 14(151): 39-40

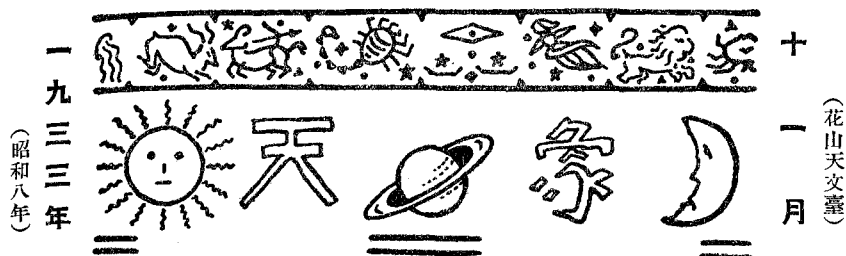
ISSUE DATE:

1933-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/165431>

RIGHT:



## I—太陽と月 (天空の明暗)

日付	太 陽			月			月の相
日	日出 (星 座)	日 没	月 齢	月 出 (星 座)	月 没		
	時 分	時 分	日	時 分	時 分		
1	6 18 (てんびん)	5 3	12.4	16 19 (う を)	5 24	○満月 2 日 16 時 59 分	
6	6 22 „	4 59	17.4	19 48 (う し)	10 18		
11	6 27 „	4 55	22.4	23 43 (か に)	12 48	●下弦 10 日 21 時 18 分	
16	6 32 „	4 51	27.4	5 5 (をとめ)	15 40	●新月 18 日 1 時 24 分	
21	6 37 „	4 49	2.9	10 46 (い て)	20 45		
26	6 42 (へびつかひ)	4 47	7.9	13 28 (う を)	1 15	●上弦 24 日 16 時 38 分	
翌 1	6 46 „	4 45	12.9	16 5 (う し)	6 23		

## II 天 象

日	時 分	
1	16 54	天王星 (南 $5^{\circ} 22'$ ) と月との會合. 天王星は光度6等1, 魚座 $\theta$ 星の西約 $3^{\circ}$ の所を逆行中.
2	17 0	満月.
3	7	土星下矩. 光度は+0等8.
8	23	水星の停留. 水星は月初め太陽より約1時間遅れて没するが19日には内合となる. 月初の光度0等5. アンタレスの西を逆行す.
12	22 19	海王星 (北 $2^{\circ} 40'$ ) と月との會合. 海王星は獅子の $\gamma$ の近くにある. 夜明けの星であるが, まだ見にくい.
15	9 10	木星 (北 $5^{\circ} 31'$ ) と月との會合. 乙女の $\theta$ の西にある. 月初めには約2時間月末には約3時間太陽より早く昇る. まだ観測は困難であろう. 光度は負1等3. 視直径は $30''$ で衝の當時の約7割である.
20	10 17	火星 (北 $2^{\circ} 54'$ ) と月との會合. 火星は夕方見える. 視直径わずかに4. 秒4. 赤経13時36分. 赤緯 $-10^{\circ} 22'$ 分.
21	10 19	金星 (南 $2'$ ) と月との會合. 金星は宵の明星であつて今月及來月が最もよく見られる. 光度は負3等9より負4等1迄, 視直径は14秒6より15秒3迄増加する.
22	15 —	水星が近日點.
23	4 48	土星 (北 $7'$ ) と月との會合
26	0 —	金星の離角 (東に $47^{\circ} 17'$ )
28	14 —	水星の停留. 之より順行にうつる.
„	21 17	天王星 (南 $5^{\circ} 27'$ ) と月との會合.

## 本年十一月の夜の天空

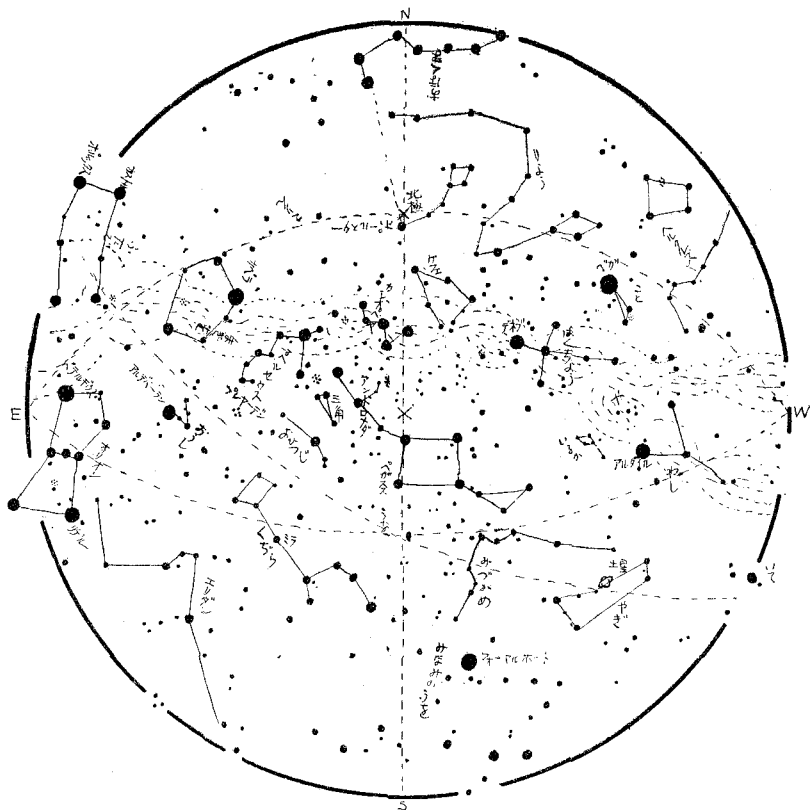
(恒星時 Sidereal Time 0時)

日本の中央部(京阪神地方)で

10月1日ならば午後9時

15日ならば午後8時

東京は約15分早く、福岡は約20分遅く現はる。但し時刻は日本中央標準時



## III—十一月の天空

銀河は東西に流れ、琴の $\alpha$ 星ベガ(鷲座の $\alpha$ アルタイル)、白鳥のデネブ等西の空におりてゆく。北斗星は北の地平に降りきつてゐるから少しでも北方に山があれば見えない代つて現れたのはカシオペヤ座であつて少しくゆがんだW字形に2—3等星が連る。W字の開いた方向にある2等星が北極星である。カシオペヤ座の南にはペルセウス、アンドロメダの星座がある。秋の星は皆淡いから天頂附近に2—3等星で畫かれた大きな四邊形が見立つ。之はペガサス座である。土星が南の空から西に移つたあと南にやゝ低く輝く1等星は南魚座のフォリアルホトである。ペガサス座の南から西にかけて淡い星のある所が魚座でこゝには春分點がある。春分點は大體ペガサス平行四邊形の東の2つの星を南に1倍だけ延した所にある。

プレヤデスがほの白い光につままれて東の空に見える。プレヤデスは冬の星々の先驅である夜更けての歸り路にオリオンや双子座等が東に昇つたのを見ると寒い冬の日の近づいて来る事を感じる。